

絹地域

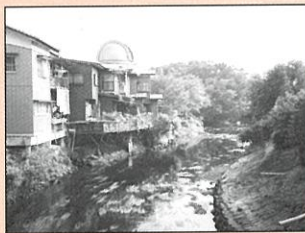


| | |
|-----------------|-----|
| ごあいさつ | 158 |
| 1 まちづくりの将来像 | 159 |
| 2 地域のすがたと財産 | 160 |
| 3 地域の現況と課題 | 162 |
| 4 地域のまちづくりの整備目標 | 164 |
| 5 地域整備方針 | 166 |

ごあいさつ



鬼怒川



延島の集落地と田川



寺野東遺跡



やすらぎの森



高椅神社



素案がまとまって記念撮影

私達の絹地域は農業を中心とする田園地帯であり、鬼怒川や田川に育まれてきた固有の歴史性・財産を有しています。しかしながら、少子高齢化が進むなか、道路整備や医療施設の確保など、地域コミュニティ*の維持に係る課題もみられます。

今回の小山市都市計画マスタープランは、小山市全体と地域レベル双方の視点から、調和ある発展をめざす、長期にわたる大きな計画であり、参加当初は心配と不安が先立ちました。幸いメンバー1人ひとりの「地域の特色を生かした活性化を実現する」という熱意が会議を重ねる度に強くなり、「水と緑が織りなすふるさとの景色と伝統 温かい心をかよわせて 未来へつむぐきぬの里」という、誇れるキャッチフレーズが完成しました。

地域の持つ伝統を生かし、澄んだ空気や水、鮮やかで豊かな緑、青い空、そして何よりも大切な人と人との交流を、未来へ、次世代へと結びながら、また検討会メンバーはもとより、多くの人々と話し合いながら、安心して生活できる、市のオアシスのようなまちづくりを実現していきたいと考えております。

絹地域まちづくり検討会 座長 伴内 金夫

副座長 谷島 駒子

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 石井 一光 | 石崎 晴子 | 落合 吉男 | 柿木 邦夫 |
| 神戸 泉 | 下ヶ橋京子 | 鈴木 道夫 | 高浜 久代 |
| 角田 良雄 | 野沢 正義 | 橋本 克子 | 南 勝利 |

*敬称略：五十音順

- ・第1回 全体会議 [平成15年 2月 2日：中央市民会館]
- ・第2回 地域別会議 [平成15年 3月 6日：絹公民館]
- ・第3回 地域別会議 [平成15年 6月19日：絹公民館]
- ・第4回 地域別会議 [平成15年 9月 9日：絹公民館]
- ・第5回 代表者会議 [平成15年12月 6日：小山市役所会議室]
- ・第6回 地域別会議 [平成15年12月16日：絹公民館]
- ・第7回 地域別会議 [平成16年 4月20日：絹公民館]
- ・第8回 全体会議 [平成16年 7月 4日：県南体育館]

1 まちづくりの将来像

地域別検討会の大切な成果のひとつとして、みんなで考え、つくったまちづくりのテーマとキャッチフレーズです。

■ キャッチフレーズ

水と緑が織りなすふるさとの景色と伝統

温かい心をかよわせて

未来へつむぐきぬの里 絹地域

●水と緑が織りなす

： 鬼怒川や田川の水辺空間と斜面林や集落地にある屋敷林等の緑と、誇れる歴史・個性が創り出す、絹織物のように美しい景観をあらわしています。

●ふるさと

： よき日本の趣を備えた田園集落をあらわしています。

●温かい心をかよわせる

： 地域の人々が大切にしている「ふれあい」の気持ちをあらわしています。

●未来へつむぐ

： 地域の個性や豊かな財産を活かしながら、明るい未来に向けて、様々な分野において、地域のみんなでまちづくりを支え、進めていく気持ちをあらわしています。

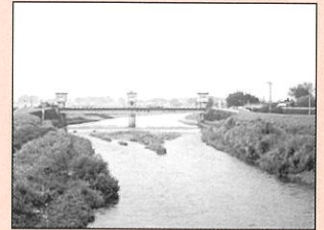
●きぬの里

： 人々が住み続けたいくなる、心休まる地域の姿をあらわしています。

■ まちづくりのテーマ

鬼怒川や田川の水辺空間と 筑波山を望む空の澄んだ青色
恵まれた田園と平地林* の鮮やかな緑が織り成す ふるさとの景色
いにしえから続く美しい文化の風が流れる 紬の里
市民が憩い・楽しむ やすらぎの森や史跡公園

豊かな自然環境とふれあい ゆったり・にっこり暮らす
温かい心がかよひ合い 伝統とまちを支える
暮らしに生きる強い絆のコミュニティ*
誇れる歴史文化と美しいふるさとを愛し
夢ある未来へ 次世代へとつなぐ 絹地域のまちづくり



田川放水路



中島周辺の集落地



小山東部工業団地



香取神社



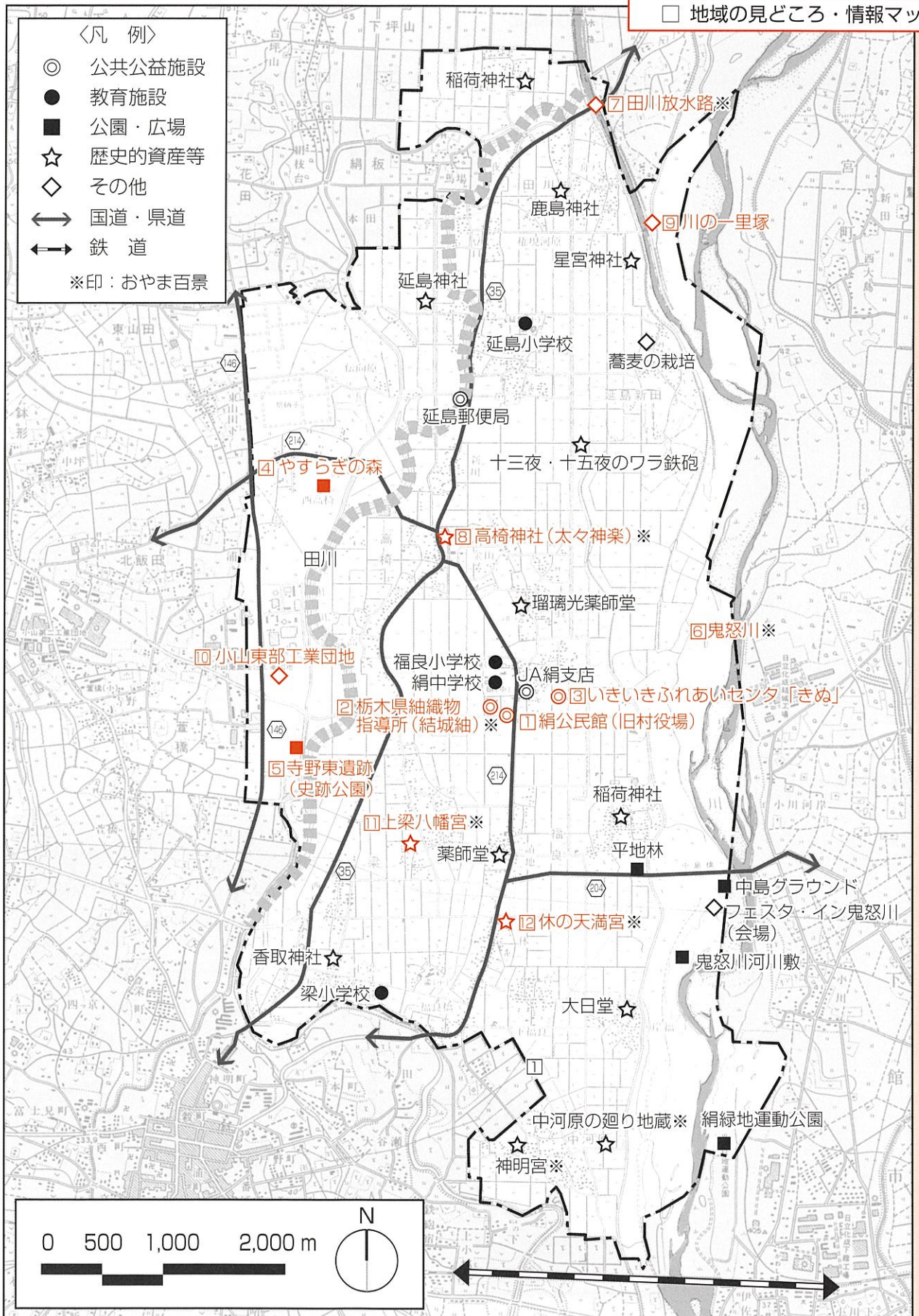
川の一里塚 (七つ橋)



下梁周辺の集落地

□ 地域の見どころ・情報マップ

- 〈凡例〉
- ◎ 公共公益施設
 - 教育施設
 - 公園・広場
 - ☆ 歴史的資産等
 - ◇ その他
 - ↔ 国道・県道
 - ⇄ 鉄道
 - ※印：おやま百景



3 地域の現況と課題

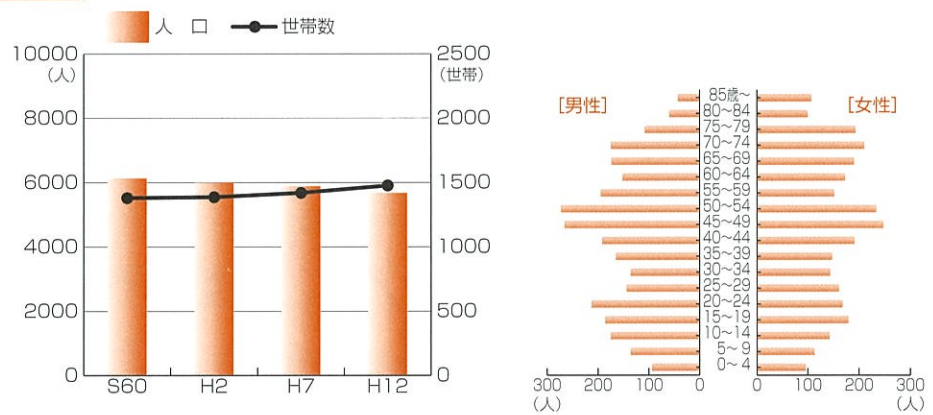
1) 地域の概況

本市の北東部に位置し、鬼怒川や田川に密着した地域で、隣接する結城市との関係も強い地域です。地域内は水田を中心に農地や平地林*等の樹林地が広がっており、そこに点在する集落地に約5,500人が居住しており、年々減少傾向にあります。世帯数は概ね横ばいで推移しています。

地域西端には小山市の活力を担う小山東部工業団地が立地しています。

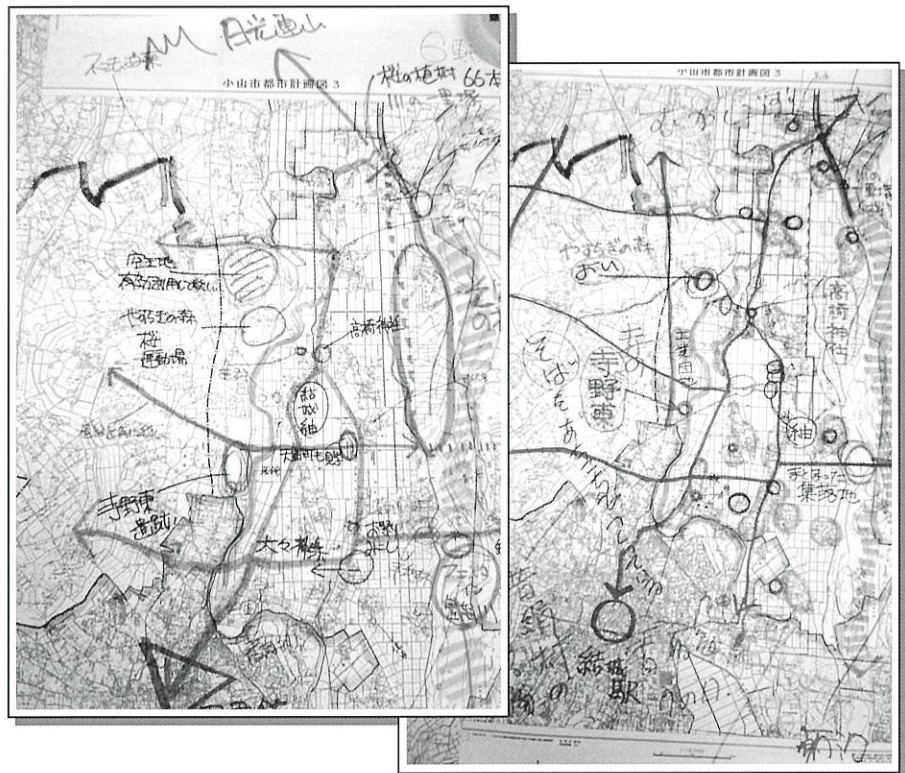
歴史的資産としては、太々神楽で有名な高椅神社を有しており、また寺野東遺跡がゆとりある史跡公園として整備されています。

□ 人口の推移・5歳階級別人口



□ ワークショップ結果 (情報地図)

【情報地図の作成】 → p10



2) 現況と課題

■ 土地利用

- ・ 広大な農地の中に田園集落地が点在しており、東側を鬼怒川、西側を田川が流れています。
- ・ 桑地域との地域境に小山東部工業団地が立地しており、小山の活力を支える産業基盤としての機能向上が期待されています。

■ 道路・交通

- ・ 市中心部や周辺市町へ連絡し、地域の骨格となる道路網の形成が必要です。
- ・ 身近な生活道路等の整備や歩行者の安全性確保が望まれています。
- ・ 地域内を通る公共交通機関（バス路線）がなく、移動利便性の向上が課題となっています。

■ 公園・緑地

- ・ 公園・緑地と同様にレクリエーション機能を有する都市計画墓園として、「やすらぎの森」が整備されています。
- ・ 歴史的資産である寺野東遺跡が史跡公園として整備されています。
- ・ 鬼怒川河川敷を活用して中島グラウンドが整備されていますが、集落地は身近な公園等が少なく、神社境内の有効活用などによる子供の遊び場・憩いの場の確保が望まれています。
- ・ 各集落に隣接した社寺林や平地林*、田川沿いの斜面林などの緑を大切に保全・活用していくことが望まれています。

■ 自然・景観

- ・ 鬼怒川や田川の美しい河川景観を保全・活用するとともに、田川放水路に植樹された桜の景観を維持していくことが大切です。
- ・ 自然環境と調和した美しい田園景観の保全・形成に努めていくことが大切です。

■ 公共公益施設・供給処理施設・その他

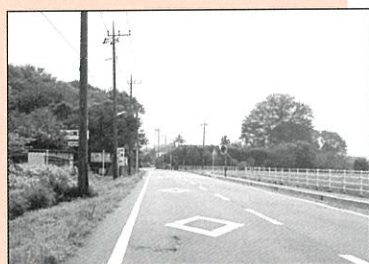
- ・ 高椅神社などの社寺や寺野東遺跡といった歴史的資産の保全・活用が望まれています。
- ・ 地域の拠点となる絹公民館、いきいきふれあいセンター「きぬ」などの公共公益施設について、様々な交流や地域コミュニティ* 活性化に寄与する場としての活用・機能充実が望まれています。
- ・ 平地林* への不法投棄など、地域の環境美化や市民のモラル向上等が課題となっています。
- ・ 消防体制の充実や無医村であることが課題となっています。
- ・ ほとんどの集落で人口が減少傾向にあり、減少の割合も大きいため、現在の田園環境を守りつつ、新たな居住を可能とする方策が必要です。

4 地域のまちづくりの整備目標



● 自然資源や農業環境と調和した良好な集落環境の形成

農地の保全、農業生産環境の向上に努め、一定の立地基準緩和に沿って、新たな活力や地域コミュニティ*の創出を図るとともに、既存集落を中心とする緑住集落地として生活環境の向上・改善を促進することで、緑豊かで快適な定住型集落環境・田園景観の形成を図ります。また地域内の工業団地においては、周辺の田園環境との調和に留意した適切な環境整備と、緑豊かで良好な景観の創出を促進します。



● 地域生活の利便性を高める移動交通環境の向上

茨城県（結城市・下館市）方面からの玄関口として、広域的連絡性を向上する幹線道路や日常生活の軸となる道路網の整備とともに、コミュニティバスなど地域の利便性向上に資する公共交通網の形成によって、市内主要施設や鉄道駅、地域間における移動交通環境の向上を図ります。



● 美しい自然景観や誇れる歴史的資産の保全・活用

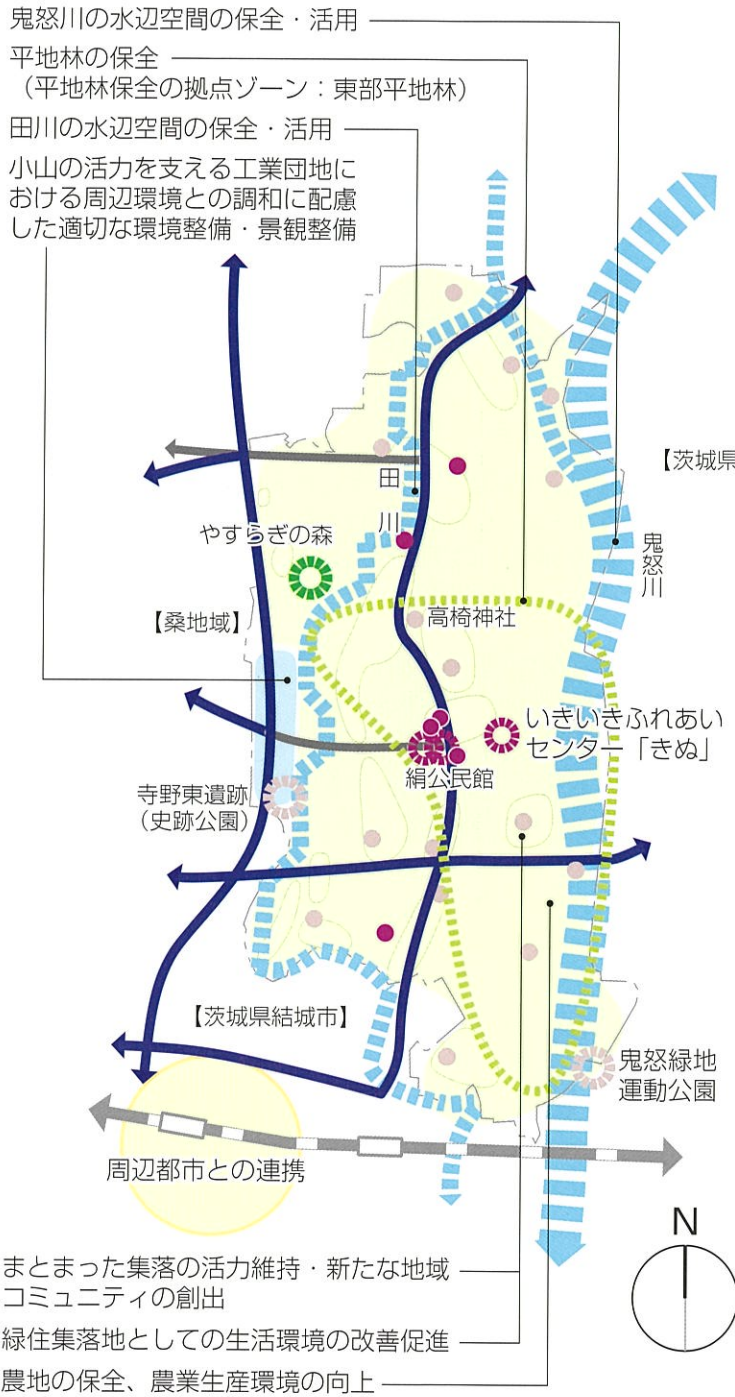
筑波山等の眺望が活きる田園景観、鬼怒川・田川沿いの水辺空間や豊かな平地林*等の緑地、高椅神社など誇れる歴史的資産を保全し、あわせて市民憩いの場としての寺野東遺跡ややすらぎの森周辺整備を進めながら、市全体の資源ネットワークの一端を担うための活用を図ります。



● 地域生活やコミュニティ*活動を支える拠点の充実

地域での生活を支え、地域コミュニティ*活動や世代間交流の拠点となるとともに、結城紬等の伝統文化を伝えていく既存の公共公益施設（行政サービス施設／学校・教育文化施設／その他）等について、地域のまちづくりに有効に活用しながら、その機能充実を図ります。

□ 絹地域まちづくり目標図



まとまった集落の活力維持・新たな地域コミュニティの創出
 緑住集落地としての生活環境の改善促進
 農地の保全、農業生産環境の向上

【その他の目標】

- ・ 日常生活の軸となる安全・便利な道路網の整備
- ・ コミュニティバスなどの公共交通網の整備による移動交通環境の向上
- ・ 平地林や社寺林、歴史的資産の保全、まちづくりへの活用
- ・ 公園や公共施設整備の充実とネットワーク化
- ・ 美しい自然環境の保全・良好な田園景観の創出

【凡例】

- 田園・自然系土地利用：緑住集落地
- 田園・自然系土地利用：農地
- 河川軸
- 鉄道
- 幹線道路
- 都市内補助幹線道路
- 地域の拠点となる公園
- 自然環境・歴史文化の拠点
- 公共施設：拠点施設
- 公共施設：その他の施設
- 地域に身近な公園・歴史的資産等

5 地域整備方針

■ 土地利用

□対応する主要整備方針イメージ

05・P173◀

19・P176◀

22・P177◀

23・P177◀

● 豊かな田園生活環境の充実と優良農地の保全

既存集落は、その形態を活かしながら、また一定の立地基準に基づく区域指定をふまえながら、生活環境の向上・改善を促進するとともに、自然環境と調和した美しい田園景観の形成を図ります。

- 優良農地と豊かな平地林*・社寺林等の保全及び育成
- 既存集落地における便利で美しい生活環境の向上・改善 等

● 自然環境に配慮した土地利用

鬼怒川や田川の水辺空間の維持・保全とともに、地域の平地林* について保全を図る拠点ゾーンとして位置づけるなど、豊かな自然環境の維持・保全に努めます。また地域内の工業団地においては、周辺の美しい田園環境との調和に配慮した土地利用の実現に努めます。

- 鬼怒川や田川などの自然環境の保全・活用
- 地域内のまとまった平地林* や斜面林等、貴重な自然の保全・育成（平地林* 保全の拠点ゾーン）
- 小山東部工業団地における、地区計画制度* の適用による、良好な周辺環境と調和した工業地の形成 等

18・P176◀

20・P176◀

■ 道路・交通

07・P173◀

09・P174◀

10・P174◀

● 小山市全体や地域の骨格を形成する道路網の整備・充実

広域的なつながりや周辺地域との関係を念頭に置きながら、地域内の円滑な交通処理、交通サービスの向上を図るため、地域の骨格となる幹線系の道路について、それぞれの機能や役割を分担する段階的・計画的な道路網の整備を進めます。また豊かな自然や歴史を身近に感じながら、自転車で移動できるネットワーク* の形成を図ります。

- 幹線道路・補助幹線道路等の整備推進と生活に身近な道路の整備検討
- 集落間や鬼怒川河川敷を連絡するサイクリングロードなど、自転車利用環境の整備検討 等

● 公共交通網の整備等による便利な交通ネットワーク* の形成

誰もが快適かつ便利に移動できるよう、コミュニティバス* などの公共交通機関の整備拡充に努めます。

- 小山駅周辺や主要な公共施設、周辺地域などを連絡するコミュニティバス* ・乗合タクシー等の整備 等

12・P174◀

■ 公園・緑地

● 自然環境や歴史的資産の保全・活用とネットワーク*の形成

豊かな自然資源や誇れる歴史的資産を保全するとともに、小山の個性をあらわす拠点として整備・活用を図っていきます。また、これらの財産を連絡するネットワーク*形成を図ります。

▶ 16・P175

▶ 17・P176

- 鬼怒川及び中島グラウンド、鬼怒緑地運動公園の活用
- 鬼怒川河川敷のスポーツ・レクリエーション空間としての活用等
- 寺野東遺跡の史跡公園としての整備・活用
- やすらぎの森の適切な維持管理
- 身近な歴史的資産の保全とまちづくりへの活用
- 周辺地域等とあわせた、自然資源や歴史的資産等を連絡するネットワーク*の形成等

● 自然環境の保全によるふれあい空間の創出

必要に応じて、地域住民との協調による宅地内緑化の誘導を図るとともに、集落周辺の神社等を子供の遊び場として活用するなど、自然と身近にふれあえる空間の創出を図ります。

▶ 19・P176

- 社寺林等の緑地空間の保全・育成
- 神社付帯遊園の活用
- 一定規模の集落等における、地区計画制度*等を活用した生垣・宅地内緑化の誘導検討等

■ 都市景観

● 田園と調和した美しい集落景観の創出

比較的まとまって広がる平地林*の緑と田園景観を大切に育てていくとともに、これらの自然景観と調和した美しい集落景観を保全・育成していきます。

▶ 19・P176

- 平地林*や里山、集落地内の社寺林等、自然景観の保全・育成
- 美しい田園景観の創出とその保全・育成等

● 鬼怒川や緑地と一体となっとうるおいある自然景観の創出

鬼怒川や田川の清流や河川樹林の緑地等、水と緑のうるおいある自然景観の保全・育成に努めます。また河川や橋を活かした、まちの出入口部分の景観形成を図ります。

▶ 20・P176

- 鬼怒川や田川の河川景観の保全
- 鬼怒川沿いの川の一里塚における桜の植樹など、市民と協調した河川景観の創出・維持等

■ 都市防災

● 雨水処理機能の向上や安全な防災施設の確保等

雨水排水等に関する整備推進により、雨水処理機能の向上を図ります。また安全な避難施設の整備と防災体制の改善・整備を図ります。
【個別方針は全体構想編参照】

■ 河川・供給処理

● 河川等の治水・保全や

清潔で安全な生活を支える供給処理施設の整備・充実

鬼怒川及び田川は、河川整備や総合的な治水対策を行うとともに、貴重な自然として市民が水に親しめるような空間を創出していきます。また、農業集落排水等の整備推進とごみの減量化・リサイクル化など、環境汚染防止と自然環境保全に努めます。

【個別方針は全体構想編参照】

20・P176 ◀

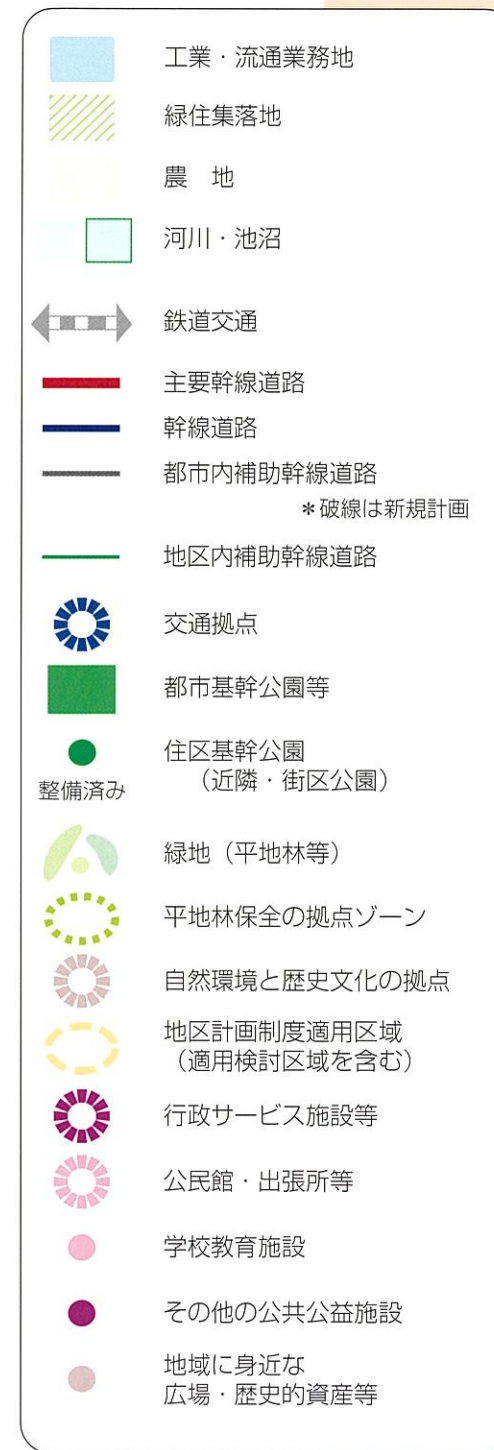
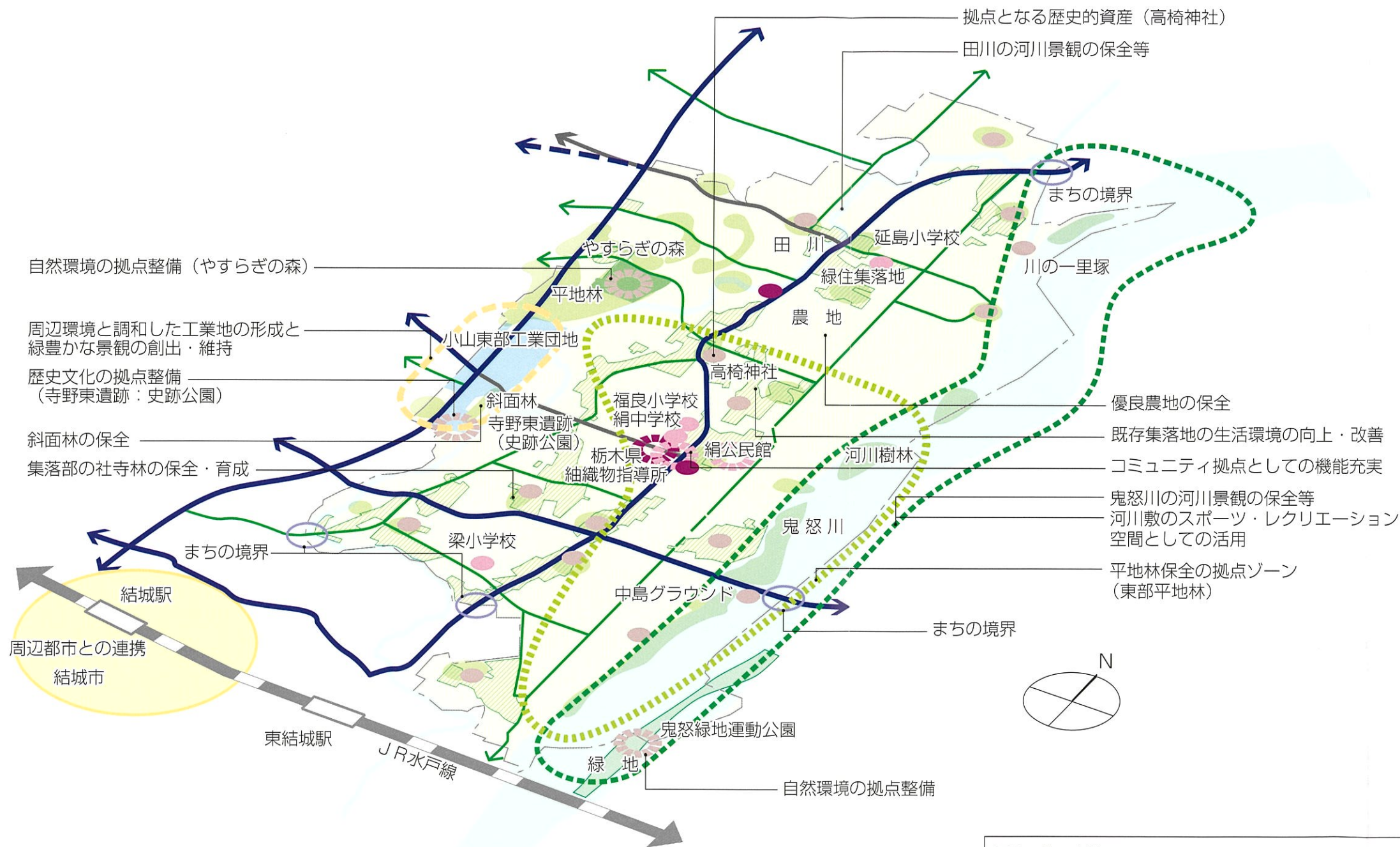
■ 公共公益施設

● 地域コミュニティ* の拠点となる公共公益施設等の適正配置、機能充実及び維持管理等

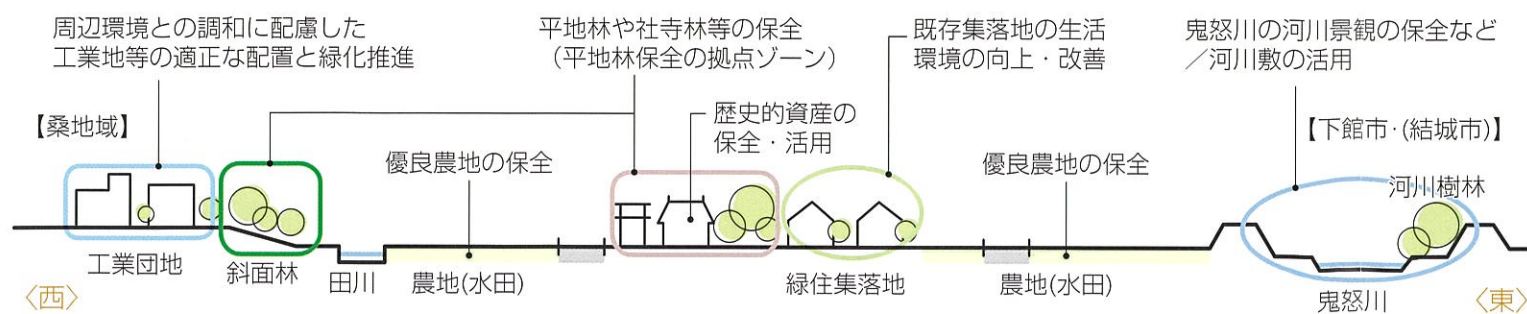
市民生活を支える行政サービスの提供に加え、地域に身近でコミュニティ* 活動の拠点となる公共公益施設について、小山市全体のバランスを考慮しながら、また既存施設を有効に活用しながら適正配置を図るとともに、その機能充実と地域と協調した適切な維持管理に努めます。

- 絹公民館のコミュニティ* 拠点としての機能充実
- 学校教育・地域活動関連施設等の整備・機能充実
- 公共施設等の総合的利便性を向上するネットワーク機能強化
- 公共施設等のバリアフリー化推進
- 栃木県繊維物指導所の維持・活用 等

□ 絹地域まちづくり整備方針図



□ 地域の主な断面構成と方針



- その他の方針
- ・ 優良農地と豊かな平地林・社寺林等の保全・育成
 - ・ 美しい集落・田園景観の創出
 - ・ 幹線道路・補助幹線道路の整備
 - ・ 便利なコミュニティバス等の整備
 - ・ 自転車利用環境の整備検討
 - ・ 水と緑と大地のネットワークの形成
 - ・ 神社付帯遊園の活用
 - ・ 身近な歴史的資産の保全とまちづくりへの活用
 - ・ 身近にふれあえる貴重な自然の保全・育成
 - ・ 市民と協調した河川周辺の緑化および集落地の緑化誘導の検討
 - ・ 学校教育・地域活動関連施設等の整備・機能充実
 - ・ 公共施設等のバリアフリー化とネットワーク機能強化

